小児歯科学

責任者・コーディネーター	口腔保健育成学講座（小児歯科学・障害者歯科学分野） 山田　浩之　教授		
担当講座（分野）	口腔保健育成学講座（小児歯科学・障害者歯科学分野）		
対象学年	4	区分・時間数	講義/演習　実習
期間	後期		前期　ー　ー 後期　40.0時間　30.0時間

学修方針（講義概要等）

身体的及び精神的、社会的に発育過程にある小児の顎口腔領域の形態ならびに機能の発育を基礎とし、新生児期から成人に至るまでの顎口腔領域の成長発育を学ぶとともに、少子化や核家族化といった現代の日本の社会状況の面から考えるべき小児の保健や医療、社会のかかわりの意義について理解することを目的とする。

教育成果（アウトカム）

講義：小児の心身の発育と歯列咬合の成長発育、小児・障害児への対応法、診査・診断・治療法について系統的に講義を行うことにより、成長発達期の歯科医療への治療を実践できる医療プロフェッショナルの基盤を形成することができる。また、小児齲蝕の病因論、小児と歯科保健医療について講義を行うことにより、より小児の齲蝕の特徴や小児歯科医療への責務に対する考え方を深めることができる。

実習：小児の歯科診療に必須で高頻度に行われる治療法を学ぶことで知識・技術が身につけることができる。実習中の教員との関りや口頭試問を経験することで良好なコミュニケーションスキルが学修できる。また、グループ作業により周囲と協調することの重要性を認識することで、将来の歯科医師として、自己のあるべき態度に気付くことができる。

（関連するディプロマポリシー：1～6、8、9）

到達目標（SBOs）

1.小児歯科学の目的と小児歯科医療の特徴を説明できる。
2.小児の心身の成長発育、歯列・咬合の発育を説明できる。
3.小児に対する歯科的な対応法について列挙できる。
4.小児の齲蝕の特徴を列挙し、齲蝕予防方法について説明できる。
5.小児の齲蝕の治療方法について列挙し、説明できる。
6.小児歯科学に関連する疾患、原因、治療法について列挙し、説明できる。
7.小児に関わる母子保健や児童福祉について説明できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

【事前学修】
　シラバスに記載されている各回到達目標の内容に関し、教科書や講義ノート、Webclass資料等を用いて事前学修（予習）を行うものとし、各授業40分程度を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。各授業に特記された事前学修項目がある場合は、その内容に従うものとする。
【事後学修】
　授業や実習においてレポートが課された場合は、提出をすること。授業後は、学修した内容について教科書や配布資料を用いて事後学修（復習）を行うものとし、各授業40分程度を要する。

（事前学修：平均40分を要する　事後学修：平均40分を要する）

講義/演習/実習日程表

区分	月日（曜）	時限	担当教員（講座 分野）	**ユニット名** 内容	到達目標 **[コア・カリキュラム]** 事前事後学修
講義	9/10（木）	1 2	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**小児歯科学概論** **小児の心身の発育** 小児歯科医療の特徴を理解する。 小児の成長発育を理解する。	1. 成長、発達、発育の意味の違いを説明できる。 2. 成長・発育に影響する因子を列挙できる。 3. 小児の年齢を正しく評価できる。 4. 小児の身体的発育を正しく評価できる。 5. 小児の精神発達段階を説明できる。 6. 小児の生理的特徴を理解できる。 **[A-2-2-1、2]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
実習	9/11（金）	1 2	齊藤桂子講師（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野）	**小児患児へのラバーダム防湿・シーラント** 小児の歯科治療に必須のラバーダム防湿法を修得する。 レジン系、グラスアイオノマー系シーラントの適応症と実際の手技を修得する。	1. 必要な器具を列挙できる。 2. クランプを正しく選択できる。 3. シートに適切な穴を開けることができる。 4. 複数歯にかけることができる。 5. フロス結紮ができる。 6. フレームを正しく装着することができる。 7. レジン系、グラスアイオノマー系シーラントの違いを説明できる。 8. 必要な器具を列挙できる。 9. ラバーダム防湿が的確にできる。 10. シーラントが的確に実施できる。 **[E-5-1-1,2、E-5-5-6]** 事前学修：実習書の該当部分を熟読し、使用する器機類の把握をし、手順を理解しておくこと。また、予習用問題に取り組み、疑問点を整理しておくこと。所要時間40分程度。 事後学修：実習中に行う小テストで理解が不十分であった箇所について、実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間40分程度。

講義	9/11（金）	3	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**歯列・咬合の発育（1.乳歯列期）** 歯齢ⅡCまでの歯列および咬合の発育を理解する。	1. 生理的歯間空隙とその意味を説明できる。 2. ターミナルプレーンを理解し、その臨床的意味を説明できる。 3. 乳歯列の咬合の特徴を列挙できる。 4. 第一大臼歯の萌出を説明できる。 **[A-2-4-5]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
実習	9/18（金）	1 2	齊藤桂子講師（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野）	**乳歯歯内療法（生活歯髄切断）** 生活歯髄切断法 水酸化カルシウム法とFC法の適応症の違いを理解し、その手技を習得する。	1. 必要な器具、薬品を列挙できる。 2. 水酸化カルシウム法とFC法の適応症を説明できる。 3. 水酸化カルシウム法の手技を正しく行うことができる。 **[E-5-3-2-7]** 事前学修：実習書の該当部分を熟読し、使用する器機類の把握をし、手順を理解しておくこと。また、予習用問題に取り組み、疑問点を整理しておくこと。所要時間40分程度。 事後学修：実習中に行う小テストで理解が不十分であった箇所について、実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間40分程度。
講義	10/1（木）	1	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**歯列・咬合の発育（2.歯の交換）** 歯列および咬合の発育を歯の交換の観点から理解する。	1. 切歯交換期の特徴を説明できる。 2. 側方歯群交換期の特徴を説明できる。 3. リーウェイスペースを理解し、その臨床的意味を説明できる。 **[A-2-4-5]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。

講義	10/1（木）	2	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**歯の発育・萌出と異常** 歯の発育と萌出ならびにその障害を理解する。	1. 歯の発育時期と萌出時期を説明できる。 2. 乳歯の萌出順序を説明できる。 3. 永久歯の萌出順序を説明できる。 4. 歯の萌出異常について説明できる。 5. 歯の形成障害の原因を述べることができる。 6. 歯数の異常について説明できる。 7. 形態の異常について説明できる。 8. 構造の異常について説明できる。 9. 色調の異常について説明できる。 **[A-3-4-1,2,3,4,5,6]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
講義	10/2（金）	1	齊藤桂子講師（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学））	**乳歯とその特徴** **小児患者の診療方針立案** 乳歯とその特徴を理解する。 小児患者の診査法、診断法、診療計画法を理解する。	1. 乳歯の形態的特徴を列挙できる。 2. 乳歯の組織学的特徴を列挙できる。 3. 乳歯の物理的、化学的特徴を列挙できる。 4. 乳歯根の吸収を説明できる。 5. 小児歯科診療に必要な問診内容が説明できる。 6. 全身的な診査の内容が説明できる。 7. 口腔内診査の項目を列挙して説明できる。 8. 治療的計画の基本的原則を列挙し説明できる。 9. 乳歯、幼若永久歯の齲蝕治療方針の原則を説明できる。 10. 治療方針の立案法を説明できる。 **[A-3-4-2,4、D-2-1-2、D-2-2、D-2-3-8]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。

講義	10/2（金）	2	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**小児患者への対応法** 小児患者への正しい対応法を理解する。	1. 小児の恐れや不安の情動の対象を列挙できる。 2. 小児の情動に配慮した診療を説明できる。 3. 小児の年齢に応じた対応法を説明できる。 4. 行動変容法を説明できる。 5. 強制治療の持つ意味を説明できる。 6. 小児への笑気吸入鎮静法の利点と欠点を列挙できる。 7. 小児への様々な対応法の利点と欠点を列挙できる。 **[A-2-2-2、D-2-1-1,2,3、D-2-1-2-1,2,3]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
講義	10/2（金）	3	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**小児虐待** 歯科臨床において被虐待児に遭遇した際に適切な対応をするために、児童虐待の概要と被虐待児の特徴、歯科医師としての責務について理解する。	1.児童虐待の定義を説明できる。 2.児童虐待の徴候を説明できる。 3.被虐待児の特徴を説明できる。 4.虐待発見時の対応を説明できる。 **[C-4-3-5、D-5-6-10]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
実習	10/9（金）	1 2	齊藤桂子講師（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野）	**乳歯用既製金属冠** 乳歯用既製金属冠（乳歯冠）の適応症を理解し、その作製法を習得する。	1. 適応症を説明できる。 2. 支台歯形成を的確に実施できる。 3. 必要な器具とその使用法を説明できる。 4. 大きさの選択・調整・適合を実施できる。 **[E-5-3-1-4,8、E-5-5-7]** 事前学修：実習書の該当部分を熟読し、使用する器機類の把握をし、手順を理解しておくこと。また、予習用問題に取り組み、疑問点を整理しておくこと。所要時間40分程度。 事後学修：実習中に行う小テストで理解が不十分であった箇所について、実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間40分程度。

演習・実習	10/16（金）	1 2	齊藤桂子講師 （口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学）	**ブラッシング指導** ブラッシング指導を理解し、その手技を習得する。	1. 小児の年齢にあった仕上げ磨きの方法を指導できる。 2. 適切な歯ブラシの選択方法を指導できる。 3. 様々な媒体を用いて指導ができる。 4. 分かりやすい言葉使いと聞き取りやすい話し方で説明できる。 5. プラークコントロールの目的を説明できる。 **[E-5-5-1,2,4]** 事前学修：実習書の該当部分を熟読し、使用する器機類の把握をし、手順を理解しておくこと。また、予習用問題に取り組み、疑問点を整理しておくこと。所要時間40分程度。 事後学修：実習中に行う小テストで理解が不十分であった箇所について、実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間40分程度。
実習	10/23（金）	1 ～ 4	齊藤桂子講師 （口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野）	**保隙装置** **クラウンループ** 固定保隙装置（クラウンループ）の適応症を理解し、その作製法を習得する。 作業模型の咬合器装着操作を習得する。	1. 適応症を説明できる。 2. 作業模型の作製ができる。 3. ワイヤーループの屈曲ができる。 4. 乳歯冠とワイヤーのろう着ができる。 5. 調整、研磨ができる。 6. 石膏模型を正確に咬合器に装着できる。 7. 作業模型の歯列状態を説明できる。 **[D-5-6-9]** 事前学修：実習書の該当部分を熟読し、使用する器機類の把握をし、手順を理解しておくこと。また、予習用問題に取り組み、疑問点を整理しておくこと。所要時間40分程度。 事後学修：実習中に行う小テストで理解が不十分であった箇所について、実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間40分程度。

講義	10/29（木）	1	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**小児の齲蝕と予防** 小児齲蝕の特徴を知り、正しい対応法を理解する。	1. 乳歯齲蝕の特徴を列挙できる。 2. 乳歯齲蝕を疫学的に説明できる。 3. 乳歯齲蝕の臨床的分類を説明できる。 4. 乳歯重症齲蝕の為害作用を説明できる。 5. 小児齲蝕の発生過程を説明できる。 6. 各段階に対する理論的な対応法を説明できる。 7. 各段階に対する臨床的な対応法を説明できる。 **[D-5-1-1、D-5-6-1]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
講義	10/29（木）	2	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**齲蝕の予防と進行抑制** 齲蝕の予防法と進行抑制法を臨床に則して理解する。	1. Stephanカーブの持つ意味を説明できる。 2. 歯口清掃指導の原則を列挙できる。 3. 哺乳と哺乳ビン齲蝕を関係づけて説明できる。 4. 薬物局所応用とその基本理論を説明できる。 5. フッ化物の局所応用法について、具体的に述べることができる。 6. 歯磨剤・洗口剤について説明できる。 7. フッ素の齲蝕予防機序を述べることができる。 8. フッ素の毒性について説明できる。 9. シーラントの術式と予後について説明できる。 **[D-5-1,2,3,4]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。

講義	10/30（金）	1	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**小児の歯冠修復** 小児の歯冠修復法とその特徴を理解する。	1. 局所麻酔法を具体的に述べることができる。 2. ラバーダム防湿の利点と欠点を列挙できる。 3. 小児の歯冠修復の目的を列挙できる。 4. 小児の歯冠修復の種類を列挙できる。 5. 乳歯窩洞形成時の注意事項を列挙できる。 6. コンポジットレジン充填の特徴を列挙できる。 7. インレー修復の特徴を列挙できる。 8. 既製冠修復の特徴を列挙できる。 9. コンポジットレジン冠の特徴を列挙できる。 **[D-5-2-1-3、D-5-6-2,3]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
講義	10/30（金）	2	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**小児の外科的処置** 小児の抜歯ならびに薬物療法について理解する。	1. 乳歯抜去時の診査事項を列挙できる。 2. 乳歯抜去の適応症を列挙できる。 3. 乳歯抜去の禁忌症を列挙できる。 4. 乳歯抜去の前準備を具体的に述べることができる。 5. 乳歯抜去時のエックス線診査を説明できる。 6. 乳歯抜去時の注意事項を列挙できる。 7. 小児の薬理学的特性を説明できる。 8. 小児薬用量の算定法を説明できる。 9. 薬剤の投与方法を述べることができる。 10. 小児への投薬時の注意事項を列挙できる。 **[D-5-4-1]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。

講義	11/6（金）	1	齊藤桂子講師（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野）	**小児の歯内療法（１．診断と治療法）** 小児の歯内療法における診断と治療法を理解する。	1.歯髄炎の診断法を説明できる。 2.間接覆髄法について説明できる。 3.直接覆髄法について説明できる。 4.暫間的間接覆髄法について説明できる。 5.生活歯髄切断法について説明できる。 **[D-5-2-2-1,2、D-5-6-4]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
講義	11/6（金）	2	齊藤桂子講師（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野）	**小児の歯内療法（２．臨床）** 小児の歯内療法を臨床に則して理解する。	1.水酸化カルシウム断髄法を具体的に述べることができる。 2.FC断髄法を具体的に述べることができる。 3.乳歯の抜髄法について説明できる。 4.乳歯の感染根管治療について説明できる。 5.幼若永久歯の歯内療法について説明できる。 6.ApexogenesisとApexificationの違いを述べることができる。 **[D-5-2-2-2,3、D-5-6-4]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
講義	11/13（金）	1	齊藤桂子講師（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野）	**小児の軟組織と歯周組織疾患** 小児の口腔軟組織、歯周組織疾患について理解する。	1.口唇の疾患を列挙できる。 2.舌の疾患を列挙できる。 3.歯肉の疾患を列挙できる。 4.その他の部位の疾患を列挙できる。 5.健全な歯周組織の特徴を列挙できる。 6.歯肉炎と歯周炎の違いを説明できる。 7.小児歯肉の疾患について述べることができる。 **[D-3-1-1-4、D-3-1-4-1、D-5-6-5,7]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。

講義	11/13（金）	2	齊藤桂子助教（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学）	**全身疾患を有する小児の治療** 全身疾患を持つ小児の歯科治療について理解する。	1. 全身疾患を持つ小児の口腔内について述べることができる。 2. 小児科との係わり方を述べることができる。 **[D-3-1-1-1]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
講義	11/19（木）	1	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**咬合誘導** **（１．静的咬合誘導）** 静的咬合誘導法を理解する。	1.静的咬合誘導法の定義を述べることができる。 2.乳臼歯早期喪失の影響を説明できる。 3.乳前歯早期喪失の影響を説明できる。 4.永久歯早期喪失の影響を説明できる。 5.歯列、咬合の分析法を具体的に述べることができる。 6.保隙の定義を述べることができる。 7.固定保隙装置を説明できる。 8.可撤式保隙装置を説明できる。 **[D-5-6-8,9]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
講義	11/19（木）	2	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**咬合誘導** **（２．動的咬合誘導）** 動的咬合誘導法を理解する。	1.動的咬合誘導法の定義を述べることができる。 2.各デンタルステージにおける咬合誘導の目標を述べることができる。 3.乳歯列期の咬合誘導を説明できる。 4.永久歯萌出余地不足に対する処置法を述べることができる。 5.混合歯列期の咬合誘導を説明できる。 6.筋機能療法を説明できる。 7.連続抜去法を説明できる。 8.主な咬合誘導装置を列挙できる。 **[D-5-6-8,9]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。

講義	11/20（金）	1	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**口腔習癖と治療** 口腔習癖の種類とその影響を理解する。	1.口腔習癖の種類とその影響を列挙できる。 2.口腔習癖の処置法を述べることができる。 **[D-5-6-8]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
講義	11/20（金）	2	森川和政非常勤講師（九州歯科大学歯学部教授）	**小児の歯の外傷** 小児の歯の外傷を理解する。	1. 歯の外傷の概要を説明できる。 2. 診査と診断について説明できる。 3. 外傷前歯の処置を具体的に述べることができる。 4. 外傷の分類について説明できる。 **[D-3-1-2-1,2、D-5-6-6]** 事前学修：教科書の該当項目の部分を読み、疑問点を抽出しておく。所要時間40分程度。 事後学修：WebClass上にある小テストを用い、不明点について知識の補充を行う。所要時間40分程度。
実習	11/27（金）	1 2	齊藤桂子講師（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学）	**フッ化物塗布** フッ化物塗布を理解し、その手技を習得する。	1. 歯面清掃を適切に行うことができる。 2. 簡易防湿を行うことができる。 3. 患者に配慮した器材の操作ができる。 4. 指定された部位に塗布を行うことができる。 5. 清潔に配慮した操作ができる。 6. フッ化物塗布時の保健指導ができる。 **[E-5-5-3,5]** 事前学修：実習書の該当部分を熟読し、使用する器機類の把握をし、手順を理解しておくこと。また、予習用問題に取り組み、疑問点を整理しておくこと。所要時間40分程度。 事後学修：実習中に行う小テストで理解が不十分であった箇所について、実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間40分程度。

実習	12/11（金）	2	齊藤桂子講師（口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野）	**小児歯科学** **実習試験**	1. 各実習項目について治療の目的について説明できる。 2. 各実習項目に必要な器具・器材を列挙できる。 3. 各実習項目の適応症を説明できる。 4. 各実習項目を実践できる。 5. 清潔に配慮した操作ができる。 **[E-5-5]** 事前学修：実習書を熟読し、実習内容について理解をしておくこと。所要時間60分程度。 事後学修：実習試験の内容について復習をしておくこと。所要時間20分程度。

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	小児歯科学　第6版	白川哲夫ほか編	医歯薬出版	2023年
参	小児の口腔科学　第6版	朝田芳信ほか著	学建書院	2023年
参	小児歯科学ベーシックテキスト　第3版	新谷誠康ほか 編	永末書店	2023年
参	小児歯科学基礎・臨床実習第3版	白川哲夫ほか編	医歯薬出版	2021年

成績評価方法・基準・配点割合等

定期試験　50%
実習試験　40%
平常点　　8%
レポート　2%

定期試験では、講義内容についての到達度を評価する試験を行う。実習試験では、実習内容（知識）についての到達度を評価する試験を行う。
レポートについては、講義・実習中に課題を提示し、その内容について評価を行う。
平常点は、授業態度や実習中の積極性等を評価する。

到達目標	DP	レポート	実習試験	定期試験	平常点	その他	合計
1	1、2、9			14	2		16
2、3	2、3			12	2		14
4、5、6	4、6、8	2	40	12	2		56
7	5			12	2		14
合計		**2**	**40**	**50**	**8**		**100**

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等）

【フィードバック】
・非常勤講師担当以外の講義では、必要に応じ講義前後に試験（プレテスト、ポストテスト）を行い、結果は講義中にフィードバックする。
・提出されたレポートは、採点後、コメントをつけて返却する。
【アクティブラーニング】
講義/演習日程表の「ユニット名 内容」の欄に別途記載済み。
【ICT活用】
講義前にWebClassに資料を提示するので事前学習に利用すること。
講義・実習において、小テストなどをタブレットやスマートフォンなどで利用できる学修支援ツールを用いて実施する場合があるため、指示に従い実施をすること。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有　（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的…特記すべき機械・器具等はありません。

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的